



JR西口まちづくりニュース

発行/JR 宇都宮西口地区まちづくり協議会 NO : 7 / 2014. 5. 15

平成 25 年度の検討を振り返って

■事業手法・街区設定(事業単位)の検討

昨年度の流れを振り返りますと、7月の定例総会後に、事業手法・街区設定の検討がスタートしました。

検討の中では、市内の他地区の再開発事業と異なり、西口は再開発エリアの規模が大きいため、街区設定を従来の道路に区切られた街区とする以外に新たな発想でブロックを設定し、**段階的に整備を進めていく方法**や、**街全体の方向性を決めて街区の調和をとっていく方法**などの議論が行われました。

また、JR 宇都宮駅が交通の重要な結節点であるという位置付けを踏まえ、駅前広場や道路などの交通基盤整備と本協議会の「再開発計画」は、西口まちづくりの実現にとって車の両輪であるが、駅前広場や周辺道路等の具体的な整備計画についての進捗状況がよく見えないことから、計画の早期策定を望む声もあがりました。

■本地区と他地区事例の敷地比較



■LRT先進地区の富山市と、段階的再開発を実施した金沢市への視察

8月末に北陸新幹線工事が進む金沢市と富山市の駅前を中心に「先進事例視察会」が行われ、本協議会会員 11 名、市職員、コンサルタントの総勢 16 名参加で視察が行われました。

富山市では実際に LRT (次世代型路面電車) に乗車し、貴重な体験をすることができました。また中心市街地の再開発事例について、各市の担当職員の方から直接話を聞くことができ、有意義な視察となりました。

宇都宮市においても、東西基幹交通として駅東地区 (JR 宇都宮駅～清原工業団地～芳賀工業団地周辺) の LRT の早期導入の方針が示され、本地区の再開発も多大な影響を受けることが確実に became.



■視察会・金沢市内にて担当職員による説明

地権者の皆様の意向確認を実施(H25.3～)

その他、市では、今後地区の整備のあり方を検討していく上で、本協議会未加入者の方を中心に個別ヒアリングを実施し、西口周辺地区の再開発に対する皆様のご意向を確認しています。「まだ、具体的な検討が行われていないので状況を見ながら加入を判断する」とのお考えの方が多いとのことでしたが、公平な立場である市の職員と意見交換しながら、いただいたご意見をまちづくり活動の参考にしたいと考えています。

LRT整備事業について

平成26年度宇都宮市の予算案の中で、駅東地区でのLRTの事業化に向けた測量や設計業務に関わる費用が初めて計上されました。平成25年度の8倍近い約10億2千万円の関連予算であり、LRT整備に関わる推進体制も拡充され、今年度（平成26年度）から具体的な整備事業がスタートします。

現在の宇都宮市の状況を見ますと、商業施設、生活利便施設、工業団地を始めとした勤務地の多くがJR宇都宮線の東側に拡大しております。宇都宮市では公共交通の空白・不便地域の解消や慢性的

な渋滞緩和を図るため、駅東側のLRTを優先整備することとしており、他都市に先行して新たな交通システムを導入することにより、更なる駅東地区の発展にもつながります。

駅西側への着工時期は未定とのことでありますが、バス路線との乗継ぎや県都の玄関口である西口の顔づくり、開発ポテンシャル向上のためにも、LRT始発が西口駅前となるよう宇都宮市に働き掛けていきたいと考えます。



■二荒山神社前交差点・LRT導入イメージ（合成写真）

第6回全体会開催のお知らせ

5月27日（火曜日）14時より、表参道スクエア6階多目的ホールにて、第6回全体会が開催されます。第6回全体会では、宇都宮市で検討しているLRTの内容について、宇都宮市の担当部署の方からご説明いただくことになり、今後のまちづくりを検討していく中で参考になりますので、ぜひ会場まで足をお運びください。

会員の皆様だけでなく、協議会に参加されていない地権者の方の参加も大歓迎です。

まちづくり協議会への参加のお願い

JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会では、地区内の地権者の皆様と共に、まちづくりについて検討をしていきたいと考えております。

現在48名もの地権者の方がまちづくり協議会の会員になっていますが、まちづくり協議会としては、他にも多くの地権者にご参加していただきたく考えておりますので、是非ともご協力をお願い致します。

〔事務局（コンサルタント）〕

○株都市環境研究所 TEL：03(3814)1001 担当：滝井、中山